

暴力團體出跋扈ノ狀況（警視廳管下）

近時社會ノ各階級ヨリ蛇蝎ノ如クニ嫌忌サレ恐怖  
セラレツ、アル謂ユル暴力團ノ淵源系統内容ニ至  
ツテハ素ヨリ種々アリト雖モ大別スレハ壯士ト稱  
スル政治「ゴロ」ヨリ来レルモノ、左傾若クハ右  
傾的思想臭味ヲ有スル不良學生ノ集團ニ端ヲ希セ  
ルモノ、三百及其ノ輩下ニ属スルモノ、博徒ヲ糾  
合シテ勢力ヲ張ルモノノ四種ニ歸スヘク而シテ三、  
四ノ團體ヲ除クノ外ハ何レモ歐洲戦乱ノ跡ヲ受ケ  
タル財界ノ不況、急進思想及其ノ反動思想ノ横流  
茲ニ并働問題、失業問題、借家借地小作問題等ノ刺激  
ニヨル所産ナルカ如ク事ヲ合法的手段即チ官憲ノ

手ニ委ヌルヲ迂愚ナリト冷笑シ凡テ莅ムニ実カヲ  
以テシ一舉ニシテ解決ヲ計ラムトスル態度ニ出ツ  
ルヲ常トス。或ハ社會人道ヲ云為シ或ハ正義自由  
ヲ唱へ或ハ皇室中心主義ヲ奉持スト云ヒ或ハ仁狹  
ヲ念トシ國粹ヲ維持スル為ト稱シ標榜スル処多少  
ノ相違アルモ表面美名ヲ掲ケサルハナク而モ實ハ  
是等ノ美名ヲ利用シテ政治問題、時事問題、社會  
問題ヨリ延イテ一般私権ニ関共容喙シ團體ヲ背景  
トシテ強談威迫、暴行、脅迫、恐喝ヲ常業トシ斯クシテ  
相手方ヨリ多額ノ金圓ヲ領得シ又一面彼等ヲ利用  
シテ為ニスル者ヨリ不相當ノ報酬ヲ取得ス。偶々  
過去ニ於テ或種ノ政客官憲ニシテ此種團體ノ或ル

モノヲ政權ノ爭奪ノ裏面ニ策動セシメタル形跡アリ  
ルヤ爾來陰ニ陽ニ其ノ権勢ヲ利用スル等餘弊漸ク  
甚シク、甚シキハ之ヲ取締ラムトスル警察官憲ニ  
對シテモ反噬スルノ態度ヲ示スニ至リシモ大正十  
二年ノ大衆火災ノ直後警察秩序ノ定マラサル際ニ  
於ケル自警團ノ横行ニ遭ヒテハ衆寡敵セス姑ク其  
ノ爪牙ヲ収メ謂ユル暴力團ノ消長ニ一大頓挫ヲ未  
タセシ觀ヲ呈セルモ其ノ後幾許モナクシテ秩序ノ  
回復ト共ニ自警團歎<sup>ヲ</sup>潛メ帝都復興ノ進ムニ從ヒ借  
地借家其ノ他ノ繫爭問題大ニ興リ他面大杉事件、  
虎ノ門事件、二重橋爆彈事件、内閣ノ更迭、議會  
ノ解散、普選問題等ヲ始メトスル幾多重要ナル政

治、社界經濟問題續出スルヤ時列レリト爲シ是等  
ノ團體ハ一齊ニ擡頭シ旧團體ハ幾多ノ分派ヲ生ミ  
新メナルモノノ輩ニ倣ツテ續出シ前日自警團ノ暴行  
ニ蒙ヒテ更ニ一段ノ蠻味ヲ帶フルニ至リテ其ノ弊  
極マレリ本年五月ノ調査ニ依レハ社會主義、共產  
主義、無政府主義的團體ヲ除キ暴力團體ト認ムヘキ  
モノ、實ニ七十一ノ多キヲ算ヘ更ニ名ヲ小新聞、小  
雜誌ノ經營ニ籍リ或ハ思想問題、労働問題ヲ取扱  
ヒ暴力團ニ準スヘキ所爲アルモノヲ物色センカ府  
下ニ於ケル暴力團體ハ百有余ニ達シ所屬團員少ク  
トモ三千ヲ下ラサルヘシト思料セララル  
彼等ハ概テ思想淺薄德操低級其ノ二、三ヲ除イテ

ハ教育ニ乏シク識見ノ見ルヘキナシ單ニ獍猛ナル  
顔貌風采ヲ持シ虛勢ヲ張リ恫喝ヲ試ミ乎然トシテ  
無耻ノ動作ヲ敢行シ得ルニ過キス、加フルニ彼等  
ハ大抵詐欺、恐喝、橫領、傷害、乃至賭博、竊盜等ノ前科ヲ  
有スルニ拘ハラス自ラ國士ト稱シテ市井ヲ濶歩ス  
ルノ圖マシサヲ有シ若シ言ヲ構フル者アルトキハ  
忽チ多数ヲ恃ンテ暴挙ニ出テ觸レハ必ス禍アルコ  
トヲ知ラシムルノ奸智ヲ有スルモノナリ、  
暴力團ノ代表的ノモノニ黑龍會アリ、武部組アリ、大  
化會アリ、大正國士會アリ、大和民衆會アリ、赤化防止  
團アリ、夫々ノ多数ノ配下ト若干ノ分派ヲ有シ合縱  
連衡ス

黒龍會ハ其ノ起源最モ古ク福岡玄洋社ノ流ヲ汲ミ  
内田良平ヲ頭目トシ葛生修吉、宮崎來城、本間九助  
等之ヲ輔佐シ明治三十四年一月ノ創立ニ係ル近時  
配下ノ葛生修吉ニ黒龍會ノ自由宿泊所ヲ管理セシ  
メ佐橋豪節ニ黒龍會第一青年部ヲ池田弘ニ令第一  
青年部ヲ統率セシメ寺田稻次郎ノ秋水會、辰川靜  
夫ノ白狼會、中野源一郎ノ滿蒙義團ヲ外衛トス、  
武部組ハ武部申策ヲ首領トシ女婿赤羽隆ニノ率ユ  
ル赤羽組、矢澤政尚ノ率ユル矢澤組、高木康太ノ  
率ユル高木組、倉田日象ノ率ユル倉田組ヲ外衛ト  
シ高土屋孝ニ塩島光太郎、大正赤心團ニ據ル赤健ニ  
等ヲ附隨セシム

岩田富美夫ヲ首領トスル大化會ハ上杉慎吉、高島素  
之等ト密接ナル關係ヲ有シ下鳥繁藏ノ主宰スル光  
化社、山本重太郎ノ主宰スル大俠會、山中伊三郎  
一味、茂木久平一味及白狼會其ノ節制ヲ受ク  
其ノ他手塚孝ノ大正國士會、藤代正春ノ大和民衆  
會、米村嘉一郎ノ赤化防止團、梅津勘兵衛ヲ主腦  
トスル関東國粹會、石橋秀夫ヲ幹事長トスル一心  
會、立憲労働黨、関根組等何レモ暴力團トシテ相  
當活躍シ勢力時ニ消長アルモ侮ルヘカラス  
暴力團跋扈ノ状況ハ上未述ヘタル所ノ如シ然ラハ  
何カ故ニ斯ノ如キ跳梁ヲ極ムルニ至リシカ想フニ  
制度、法規、其ノ運用ノ欠陥ハ其ノ最大ノ原因ナ

ルヘク尤ニ之ヲ指摘スヘシ

### A 法規ノ欠陥

1. 團體若クハ多数ヲ背景トスル強談、威迫乃至暴行、恐喝等ノ及ホス影響ハ單ナル夫ト同一視シ得ヘキニアラサルニ拘ハラズ法規上何等ノ差別ナキノミナラス實際ノ科刑ニ於テ彼此徑底ナク科刑ノ輕キニ失スルコト
  2. 法ニ不備欠点多ク不逞無賴ノ徒モ少シク注意スルコトニ依リ容易ニ法網ヲ潜リ得ルコト
  3. 暴力團ヲ利用シテ自己ノ利ヲ圖ル者ニ對スル制裁ナキコト
- B 制度ノ欠陥

1. 社會共存ノ意義茲ニ共存ノ為ニ各自ノ守ルヘキ徳義ニ對スル觀念ノ低キ我カ社會ニ於テ強者ノ橫暴ヲ反省セシムル適當ノ途ナキコト
2. 合法的權利擁護ノ最終ノ手段タル裁判ハ費用ノミ徒ラニ多クヲ要シテ急速ノ進行ヲ見ス之ニ反シテ暴力團ヲ利用スルトキハ忽チ之カ解決ヲ見 時ニ或ハ非ニシテ尚ホ勝ツノ結果ヲ導クルヲ以テ暴力團モ亦社會ノ道具ナリトノ觀念ヲ興フルコトアルコト
3. 刑罰ノ威力輕ク假令所罰ヲ受クルモ其ノ苦痛ハ彼等ノ利得ニ比シテ通常輕キコト多ク打算ニ長スル彼等ヲ威嚇スルノ効果ナキコト

4. 思慮淺薄徳操低級ナル者ノ單ニ法規ニノミ通  
曉スルコトハ之ヲ悪用シテ社界ニ害毒ヲ流ス  
ノ機會多クシテ危険ナリ、彼ノ三百ノ徒成ハ  
眼中法律アルノミノ徒ノ暴力團ニ投シ又ハ之  
ヲ利用セムトスルニ至ルハ極メテ自然ナル状  
勢ニアルコト

5. 威嚇宜シキヲ得ルニ於テハ最モ容易ニ最モ現  
實ニ多額ノ金円ヲ得ヘク例ヘハ先年内田良平  
カ三井家ノ相續問題ニ干涉シテ十万円ヲ、安  
田善孫ノ債權整理ニ依リシテ數十万円ヲ更ニ  
日本郵船會社ノ紛擾問題ニ干渉シテ十万円ヲ  
報酬名義ニ於テ收受セルカ如キ同人間ノ風評

ニ徴シテ其ノ一斑ヲ知ルヘク斯ノ如キ有利ナ  
ル業務ノ他ニアラサルコト

最後ニ暴力團一味ノ者ノ行動ヲ概説セムニ彼等ハ  
其ノ首領等カ自己ノ勢力ヲ利用シテ巨額ノ金  
円ヲ獲得スルノ辣腕ニ心服シ徒ラニ其ノ擧ニ倣ヒ  
口大言壯語ヲ為シ行粗暴矯激ナルコト懸テ已ノ大  
ヲ為ス所ナルカ如ク思惟シ法規ノ威力、道德條理  
ハ第二段トシ實力ニ依リテ事ヲ決スルコソ賢明ニ  
シテ捷徑ナル唯一ノ手段ナリト為シ警察、監獄何  
ノ恐ル、知ゾ、要路ノ大官亦吾願使ニ任スルノミ  
ト豪語シ何人ニモ面會ヲ強要シ他ノ迷惑ヲ顧ミサ  
ルノミナラス却テ之ニ會心ノ笑ヲ洩ラス、居ルニ

家賃ヲ拂ハスシテ去ルニ立退料ヲ要求シ米屋、酒屋、八百屋、魚屋ハ取ルニ任セテ代價ヲ支拂ハス出入ニ自動車ヲ備フモ殆ント料金を其ヘス。無銭ニテ飲食店ニ上リ督促ヲ受クレハ暴行シテ更ニ示談金を取ラムトハ、若シ警察ニ訴フル者アラハ他日自己及全輩列リテ迫害暴行シ後難ノ輕カラサルヲ示シ恫々警察官ノ来リテ制止干涉セムトスルヤ人権蹂躪ナリト叫ヒテ逆襲スルモノ比マ皆然リ  
以上ノ状況ナルヲ以テ彼等ノ為サントシテ為シ得サルコトナシト放言セルノ強チ故ナキニアラサヲ思ハシムスクノ如クシテ放任セムカ良民ノ迷惑測リ知ルヘカラサルノミナラス延ヒテハ國權ノ弛廢

ヲ招クノ虞ナキニアラサルヲ以テ昨年七月以來命ニ依リ銳意之カ掃蕩ヲ期シ警察署ニ於テ取扱難キ事件ヲ選ミテ檢挙ニ着手シ別表記載ノ通三十六件ヲ挙ケ得タリ

取締上困難ヲ感スル点竝ニ其ノ實例

一、暴力團ノ被害者ハ通常相當ノ身分ヲ有シ然ラザレバ何等カ他ヨリ責メラルヘキ欠点ヲ有スルモノナ  
ルヲ以テ被害事實ヲ警察官署ニ申告スルニ於テハ  
為ニ自己ノ名譽面目ニ拘ハルモノアルヲ慮リ或ハ  
又後難ノ其ノ身ニ到ルヲ虞レ進ムテ之ヲ訴ヘ出サ  
ルハ勿論或ル場合ニ於テハ其ノ事實ヲ隱蔽スルコ  
トサヘアリ此点ニ於テ取締上非常ナル困難ヲ有ス  
二、暴力團ノ首領ハアル程度ノ法律の素養ヲ有シ否ラ  
サレハ辯護士三百ノ類ト相當ノ默契ヲ有スルモノ  
多キヲ以テ尋常ノ方法ニヨリテハ服罪セシメ難キ  
事情ヲ有ス假令刑ヲ受クルコトヲ豫期スルモ成ル



ヘク重刑ニ處セラレサラムコトニ注意シ用意頗ル  
周到ナルモノアリ 例ハ家宅内ニ侵入シテ暴行  
スルニ於テモ單ニ戸障子襖等ノ器物ヲノミ毀棄シ  
柱其他外壁等苟クモ建造物ト稱シ得ル部分ニハ及  
ハサル様注意シ事件ヲ親告罪ノ範圍ニ限定セムト  
努ムル如キ是ナリ

三暴力團ノ犯罪事件ニ関シ其ノ關係者ヲ喚問セント  
スルニ當リ現行犯人若クハ令状帶行ノ場合ニ於テ  
ハ素ヨリ論ナキモ否ラサル場合ハ通常事件ノ被疑  
者ト異ナリ彼等ハ兼諾同行ヲ拒ムヲ例トス現ニ最  
近(客月二日)大和民労會総務藤代正春ヲ恐喝横  
領被疑事件ニ依リ自宅ニ就キ同行ヲ求ムルヤ令状

ヲ持參セリヤト尋ネ否ラサル旨答フルヤ令状ニ依  
ラサレハ適法ニアラスト稱シ同行ヲ拒ミ更ニ臨場  
セシ主任警部ニ於テ懇諭スルモ應セサルノミナラ  
ス強イテ同行セントナラハ暴力ニ適ヘヨ然ラハ新  
聞記者ヲ招キテ其ノ狀況ヲ新聞紙ニ發表セムト放  
言シ殊更ニ輩下及辯護士等ヲ呼ビ不適法ノ召喚ニ  
ハ應スル義務ナシトテ酒ヲ酌ミナカラ虚勢ヲ張ル  
ノ始末ニ警部モ施スニ術ナク張込負ヲ残シテ一旦  
帰廳シ更ニ檢事ノ令状ヲ仰キ之ヲ携帯シ刻再々出  
向スルヤ已ニ時ヲ測リテ逃走セシ後ナリシ事實茲  
ニ本月三日大行社顧問與川二郎ヲ恐喝被疑者トシ  
テ喚問セントスルニ當リ刑事巡查刺ヲ通シ書生ノ

九

案内ニテ同人宅下座敷ニ於テ待居ル内奥川ハ二階ヨリ降り来リ家宅侵入ナリト無法ノ言蒐リヲ為シ令状ヲ示スニアラサレハ断シテ同行セスト猛リ立テ遂ニ淀橋警察署ノ手ヲ煩ハシ多数警察官臨場シテ檢束ノ言渡ヲ為シ辛ウシテ其ノ目的ヲ達セシ事実ノ如キ之ナリ 想フニ今後此種ノ面倒益々滋キニ至ルヘフ之ニ関スル対策トシテ警察官ニ或種ノ強制召喚権ヲ認ムルヲ必要ナリト認ム

### 暴力團ヲ徹底的ニ掃蕩スル方策

一、前記暴力團跋扈ノ原因ヲ除クコト其ノ一ナリ即チ斯ル團體ノ存在ヲ認容セサルヘカラサル制度法規

ノ不備欠陥ヲ無クスルコトヲ要ス

二、特別法ヲ制定シ暴力團體ヲ組織シ又ハ之カ組織ヲ教唆シタル者竝ニ之ニ参加シタルモノ及之ヲ利用シタル者之ヲ利用シタル者ヲ嚴罰スルコトニ依リ之ヲ威壓スルコト其ノ二ナリ此ハ團體ノ羽翼未タ成ラサルニ先キ之ヲ刈除シ利用者ヲナカラシメテ其ノ養分ヲ絶タムトスルモノニシテ第一項ノ云フヘクシテ行キ難キモノニ比シ実行上可能性ヲ有ス

三、彼等ヲ善導シテ正業ニ就カシムルコト其ノ三ナリ只彼等ハ多年節制ナキ放蕩ナル生活形式ニ慣レ居ルモノナルヲ以テ到底凡テヲ駈リテ正業ニ趨ランムルヲ得サルヘク從テ果シテ如何ナル程度迄善導

シ得ヘキカ疑問ナリトス第二項ト併セ行ヒ其ノ効  
果ヲ將來ニ待タンノミ

### 所得ノ淵源

#### 一、好景氣時代

大正七、八年頃ノ好景氣時代ニ於テハ滿鉄郵船其ノ  
他ノ會社ニ蝟集スル烏合ノ浪人ハ約三千ト稱セラ  
レ各自ノ手腕ト團體ノ如何ニヨリ所得ニ大差アリ  
多キハ數萬円尠ナクトモ一ヶ月三四百円ヲ下ラサ  
リシカ如シ

#### 二、昨年後半期以後現在ニ到ル

昨年後半期以後ニ於テハ一般會社実業家何レモ不

況ニ陥リ從テ彼等ニ對シテ殆ント出金セサルニ到  
リ之等ノ方面ヨリ援助ヲ受クル暴力團ハ甚シク困  
憊ノ狀況ニアリ而モ其ノ他ノ政治問題諸種ノ繁争  
問題ニ関與スルモノニ至ツテハ今尙相當ノ收入ヲ  
有ス只其ノ人物手腕地位ノ如何ニヨリ所得額ニ甚  
シキ相違アルノミ首領ノ收入團體ニ依レト一ヶ  
年何萬円何千円ヲ算スルハ想像ニ難カラサルト同  
時ニ末輩ニ到ツテハ一ヶ月僅ニ五円乃至二十円位  
ノ煙草錢ヲ受クルニ過キササルヲ見ル